

各地区の取り組み

▼「すこやか倶楽部」

平岸

「ふれあいネットワーク平岸」では、高齢者支援・子育て支援・異世代間交流を3つの柱に、さまざまな活動に取り組んでいます。

●家に閉じこもりがちの高齢者に少しでも外出してほしい—高齢者支援

各ブロックごとに、一人暮らしの高齢者を対象に昼食会を開催しているほか、70歳以上の高齢者が集う場として、「すこやか倶楽部」を開催しています。この倶楽部では、高齢者に生きがいを持ってもらおうと、お菓子作り、体操、認知症のセミナーなどを企画し、毎回多くの方が参加しています。また、一人暮らしの高齢者宅などを対象に、中学生による除雪ボランティアを実施しています。

●利用者は年々増加—子育て支援

子育て中のお母さんのストレスを軽減しようと、毎月第2・4月曜日に平岸会館で子育てサロン「なかよしひろば」を開催しています。また、町内会連合会と協力して、コミュニティスペース「ぴらけし」で子育てサロン「ぴらけしなかよしひろば」を開催しており、利用者は年々増えています。今後も地域ぐるみでの子育て支援を進めていくことが目標です。

●高齢者と子どもの交流を深めたい—異世代間交流

毎年お正月には、陵陽中学校・八条中学校・中の島中学校の生徒に年賀状を書いてもらい、一人暮らしの高齢者に差しあげています。心のこもった年賀状は大変喜ばれ、福祉のまち推進センターには、たくさんの礼状が届いています。

●地域住民の協力が必要—運営委員長から

「高齢者がどんな援助を必要としているか、ニーズを把握するためには、より身近な町内会や地域の方の協力が必要です」と話してくれたのは、運営委員長の篠原清さん。今後は異世代間交流活動をさらに活発に行い、青少年健全育成活動などにも力を入れていきたいと笑顔を見せてくれました。



▲運営委員長の
篠原清さん



▲中学生による除雪ボランティア



▲「なかよしひろば」で行われた子どもの歯の健康教室

東月寒

地域住民の福祉活動への参加により、地域で互いに支え合う環境を整え、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指す「ふれあい東月寒」。町内会と連携して取り組みを進めています。

●各ブロックの創意工夫でもっと活発に—高齢者対策事業

地区を4ブロックに分け、各ブロックごとに茶話会、介護講習会など、さまざまな行事を企画しています。また、地区全体の行事としては、年1回、日帰り入浴ツアーやお食事会を開催しています。毎年11月に開催しているお食事会では、まちづくり団体「地球倶楽部」のメンバーの手打ちそばが振る舞われ、参加者に大好評です。

●地域の子どもたちも協力—除雪事業

高齢者や障がいのある方を対象に福祉除雪を行っています。除雪協力員50人のほか、東月寒中学校の生徒や少年消防クラブの子どもたちも除雪に協力しています。



▲子育てサロン「ふれあいキッズ」

●防犯体制で、安心・安全—子育て支援事業

毎週木曜日、東月寒地区センターで、子育てサロン「ふれあいキッズ」を開催し、子育て中の親子同士の交流を図っています。なお、安心して子育てサロンを利用してもらおうと、サロン開催中は、男性の防犯スタッフが不審者のチェック、子どもの見守りなどを行っています。



▲日帰り入浴ツアー



▲運営委員会のメンバー。写真後列左から村上裕治さん、西尾さち子さん、前列左から山本笑美子さん、西條保さん、船越一珠子さん

